令和３年３月１１日
第１０号
生徒指導部

岸城中学校

生徒指導だより

今日から１０年前…

今日から１０年前の２０１１年３月１１日１４時４６分、たくさんの人々の「あたりまえ」を奪った東日本大震災が発生しました。地震、火災、津波等で２万２０００人余の死者・行方不明者の被害がでました。命が助かったても、たくさんのことが奪われてしまった日です。１０年目という今日という日、一度君たちも想像してみてください。

いつも学校から帰る家がなくなることを…
今日はしんどいなと思うこともある学校がなくなることを…
いつも食べているあたたかいご飯がなくなることを…
毎日着替えている服がなくなることを…
お風呂も、トイレも、電気もなくなることを…
大切な友人がいなくなってしまうことを…
いつも支えてくれる家族がいなくなってしまうことを…

たくさんの「あたりまえ」のことが本当に幸せなことなんだと感じませんか？
私たちは、苦しいことなどもありますが、命があって、あたりまえの日常があることの幸せをもっともっと感じないといけないと思います。

３年生の「あたりまえの学校」が明日で最後です。

３年生の岸城中学校に通う日があと１日となりました。君たちと毎日「あたりまえ」のように会えていた日を思い返すと、おめでたい日なのですが、寂しく感じてしまいます。

３年生、卒業おめでとう！

今一度、君たちの５６６日間の岸城中学校での思い出を振り返ってください。君たちはたくさんの「あたりまえの幸せ」に支えられていたはずです。見えないところで関わってくれていた地域の方々、笑いあったり励ましあったりした友達、叱ったり・ほめたりしてくれた先生、いつも制服などを用意してくれた保護者の方々などたくさんの「ありがとう」を伝えることができる１日に明日はなるはずです。

今、振り返ってみると、たくさんの「あたりまえの幸せ」を感じると思います。何気ない通学路、何気ない休み時間、岸城の制服を着ることなど普段はあたりまえにあることが、こんなにも幸せなことだったんだと感じるはずです。その「あたりまえの幸せ」をこれからの君たちの人生でも忘れないでください。そしてこれからの「あたりまえの幸せ」を大切にしてください。

３年生の君たちへ、岸城中学校に来てくれてありがとう。
そして、これからもよろしくお願いします。君たちの人生をいつも応援しています。

素直に「感謝」と「反省」ができる学校へ！

～「ありがとう」と「ごめんなさい」を大切にしましょう～